



日本共産党の躍進こそが TPP参加を止める一番の力

☹️ TPP参加で滋賀県は…

● 農業産出額は400億円減少

県内コメ農家のほとんどが荒廃

県農協中央会はTPP影響を試算し、農業産出額が400億円減少するとしています。その結果、近江米はごく一部の有機米を除いて9割以上が壊滅し、県内産の小麦や牛乳・乳製品はほぼ全滅、県内コメ農家は廃業となります。滋賀の農業が壊滅する深刻な事態になると予想しています。耕作放棄された水田は数年後には雑木が生え、湖国の自然と環境が破壊されることは明らかです。

● 雇用は18,100人減

リーマンショック解雇の3倍に

農機具製造と修理、輸送業者、食品製造、肥料・農薬製造販売など、農業の関連産業はすそ野が広く、地域密着で雇用をささえています。農業が打撃を受ければ当然被害が及びます。農家で組織する農協も経営基盤を失い、崩壊の危機にさらされます。

農業壊滅と雇用破壊で地域経済が深刻な打撃を受けます。

☺️ 決着は選挙で… (それぞれの党の立場)

民主党 ・ 政権与党としてTPP交渉を推進。

自民党 ・ 『聖域なき関税撤廃』など日本の国益に反する形でのTPP交渉参加に反対、「条件つき反対」いいかえれば「条件つき賛成」という立場。「非関税障壁の撤廃」にはモノ言わず。

みんなの党、「維新の会」 ・ TPP参加を公然と推進。

日本共産党

TPP参加に政党として断固反対を貫き、草の根でも運動をすすめています。食料主権、経済主権を尊重した貿易ルールの確立を求めています。TPP問題の大元にある大企業中心・アメリカいなり政治を正そうと一貫して頑張る政党です。

滋賀では県民会議という一点共闘もつられています。この大同団結をさらに大きな力にするためにもTPP反対の立場で揺るがない日本共産党を大きくすることが大切です。



日本共産党演説会

11月23日(金・祝) ①14:30- 大津市民会館 / ②18:00- ひこね燦ぱれす
市田書記局長が語る日本共産党の改革提案、展望のある話をお聞き下さい